

ジョブ履歴配信 取扱説明書

- Adobe および PostScript は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
 - Microsoft、および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標または商標です。
Xerox、および Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

- 本書では、ハードディスクやソリッドステートドライブなどを総称して「ストレージ」と表記します。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



補足

操作の参考になる情報を記載しています。



参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	<ul style="list-style-type: none">・ 本書内にある参照先を表しています。・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	<ul style="list-style-type: none">・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none">・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	<ul style="list-style-type: none">・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	<ul style="list-style-type: none">・ 機械の操作パネルのハードウェアボタンを表しています。
< > キー	<ul style="list-style-type: none">・ コンピューターのキーボードのキーを表しています。
>	<ul style="list-style-type: none">・ 操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

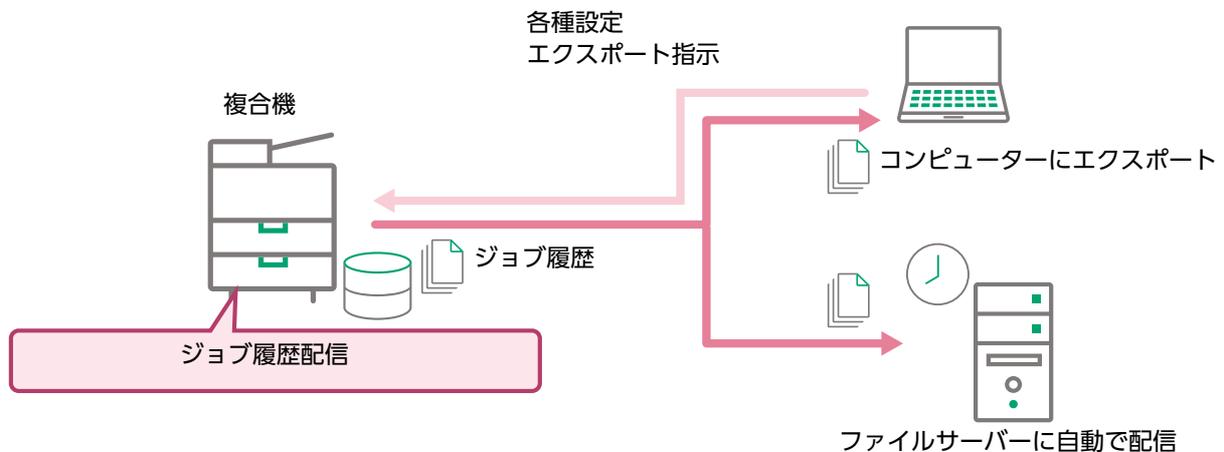
1 ジョブ履歴配信について

ジョブ履歴配信でできること

ジョブ履歴配信は、コピーやプリントなど複合機が実行した処理の記録（ジョブ履歴）を、Web ブラウザーを使ってエクスポートしたり、自動でファイルサーバーに配信したりするための機能です。

本機能を利用すると、複合機のジョブ履歴を定期的に取得して管理できます。

ジョブ履歴は CSV 形式のファイルで出力されるので、Microsoft Excel などの表計算ツールを使用して集計できます。



ジョブ履歴のエクスポート

複合機に蓄積されたジョブ履歴を、CSV 形式のファイルとしてコンピューターにエクスポートします。

Web ブラウザーでジョブ履歴配信にアクセスし、エクスポートするジョブ履歴の範囲を日時で指定できます。

この場合、指定した期間中に終了したジョブの履歴が、エクスポートの対象となります。処理中のジョブの履歴は、エクスポートされません。

 参照

・「ジョブ履歴をエクスポートする」(P.14)

ジョブ履歴の配信

複合機に蓄積されたジョブ履歴を、CSV 形式のファイルとしてファイルサーバーに自動で配信します。

設定した日時に定期的に配信するだけでなく、複合機が保存しているジョブ履歴の数を監視して、配信していないジョブ履歴が指定した件数を超えた場合に配信するようにも設定できます。

自動配信では、配信を開始するまでに終了しているジョブの履歴が 1 回だけ配信されます。配信済みのジョブ履歴が重複して配信されることはありません。

配信先には、Server Message Block (SMB) プロトコルで通信するファイルサーバーを設定できます。

6d 参照

- ・「自動配信を設定する」(P.12)

ジョブ履歴ファイルの形式設定

ジョブ履歴情報を出力する文字コード、ジョブ履歴中の日時情報の形式、およびジョブ履歴のヘッダ行を出力する言語を設定できます。

1 件分のジョブの情報が、1 行に出力されます。

出力ファイル名には、ジョブ履歴ファイルを生成した日時が付加されます。日時の形式は、複合機の設定に従います。日時以外に、任意の文字列や、複合機から取得した識別情報を付加するかどうかを設定できます。

6d 参照

- ・ファイル形式の設定 → 「ジョブ履歴を出力するファイルの形式を設定する」(P.10)
- ・出力されるジョブ情報 → 「8 付録」(P.19)

ジョブ履歴の再配信

自動配信できなかったジョブ履歴を、手動で再配信できます。

再配信を実行すると、本来自動配信を実行するように設定していた日時が、出力ファイル名に付加されます。

たとえば、配信方法を「毎月月末 23:00」に設定している状態で、2017 年 6 月 20 日から SMB サーバーが停止していた場合、2017 年 7 月 10 日に再配信を実行すると、ファイル名に付加される日時は「20170630_2300」になります。

配信先は、自動配信の設定に従います。

6d 参照

- ・「ジョブ履歴を再配信する」(P.14)

2 動作環境

複合機

ジョブ履歴配信は、次の環境で動作します。お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- ・ ストレージを搭載している
- ・ システムメモリーを 2 GB 以上搭載している
- ・ プリンターキットを搭載している
- ・ ネットワークに接続されている

お使いの複合機のストレージ、およびシステムメモリーは、次の手順で確認できます。

操作手順

- 1 [機械確認] > [詳細情報] を押します。
- 2 [機械構成] を押します。
- 3 [ストレージ] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。

ファイルサーバー

Server Message Block (SMB) プロトコルで通信できるファイルサーバーです。以降、SMB サーバーと呼びます。

対応する SMB サーバーの種別や、SMB プロトコル通信に関する詳細については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

3 環境設定

お使いの複合機で、ジョブ履歴配信を利用するための環境を設定します。

複合機の設定

ジョブ履歴配信を利用するためには、次の設定が必要です。本機能を使用する前に、各項目が正しく設定されているか確認してください。

項目	設定内容
プロトコル設定	[設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP - ネットワーク設定] ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための設定 [IPv4-DNS 設定] または [IPv6-DNS 設定] ・ [DHCP からのアドレス取得] のチェックが外れている場合、かつ、配信先の SMB サーバーをホスト名で指定する場合は、[DNS サーバーアドレス] にお使いの DNS サーバーアドレスを入力します。IP アドレスや、同じサブネット内のコンピューターの NetBIOS 名を設定する場合は、DNS サーバーアドレスを設定する必要はありません。
SOAP- ポート	[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] ・ SOAP- ポート：起動 ・ SOAP- ポート番号：80
インターネットサービス (HTTP)	[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [インターネットサービス (HTTP)] ・ インターネットサービス - ポート：起動
SMB クライアント ^{*1}	[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SMB クライアント] ・ SMB クライアント - ポート：起動
組み込みプラグイン機能	[設定] > [システム設定] > [プラグイン設定] ・ 組み込みプラグイン機能：有効

*1 ジョブ履歴を SMB サーバーに配信する場合に設定します。

インターネットサービスの設定

項目	設定内容
追加型アプリの有効化設定	[アプリ] > [アプリ設定] ・ 追加型アプリの有効化設定：有効
組み込みプラグイン機能	[システム] > [プラグイン設定] ・ 組み込みプラグイン機能：有効

インストール

ジョブ履歴配信をインストールします。

インストール手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

補足

- ・バージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

4 ジョブ履歴配信の操作

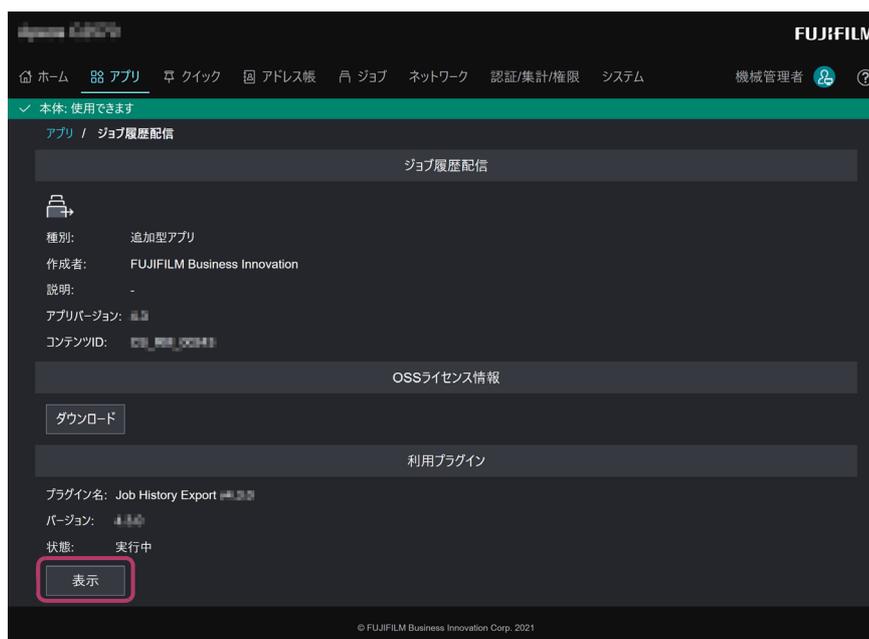
ジョブ履歴配信の設定画面を表示する

操作手順

- 1 コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。
インターネットサービスが起動します。
- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 [アプリ] をクリックし、[アプリ一覧] で [ジョブ履歴配信] を選択します。



- 5 [利用プラグイン] の [表示] をクリックします。



ジョブ履歴配信の設定画面が表示されます。

設定画面の詳細

ナビゲーションバー

このアイコンにマウスカーソルを重ねると、項目の説明が表示されます。

ジョブ履歴を出力するファイルの形式を設定する

ジョブ履歴を出力する CSV ファイルの形式を設定します。
 手でエクスポートする場合も、自動配信の場合も、この設定が適用されます。

操作手順

- 1 ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。
 **参照**
 ・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)
- 2 ナビゲーションバーで[セットアップ]をクリックし、画面上部の[ファイル形式]を選択します。
- 3 各項目を設定して、[新しい設定を適用]をクリックします。

項目	説明
文字コード	ジョブ履歴を出力する文字コードを選択します。複合機の言語設定に応じて選択してください。  注記 ・複合機の言語設定が日本語でも英語でもない場合は、[Shift-JIS]を選択しないでください。
日時形式	ジョブ履歴に出力される日時情報の形式を選択します。  補足 ・「年月日」の並び順は、複合機の「日付の形式」の設定に従います。

項目	説明
ヘッダー行の言語	<p>ジョブ履歴に出力されるヘッダー行と、一部のジョブ属性値の言語を選択します。</p> <p>ここで設定した言語で出力されるジョブ属性値は、次のものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジョブの種類 ・ ジョブタイプ詳細 ・ 入力(送信)種類 ・ 入力ポート ・ 出力(排出)先 ・ PDL ・ ジョブ処理状態 <p>上記以外のジョブの属性値は、複合機に記録されているジョブの情報がそのまま出力されます。</p>
ファイル名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、ジョブ履歴のファイル名に付加する任意の文字列を入力します。 ・ 複合機の操作パネルで入力できる文字だけを使用できます。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル名について → 「ジョブ履歴ファイル名の命名規則」(P.11) ・ 複合機で入力できる文字 → お使いの複合機のマニュアル
末尾に [日時] を付加する	<p>ファイル名の末尾に付加する情報を選択します。</p>
末尾に [本体名]、[シリアル番号]、[日時] を付加する	<p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「本体名」は、インターネットサービスの [ホーム] タブの [機械情報] > [本体名] で設定した文字列です。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ジョブ履歴ファイル名の命名規則」(P.11)

ジョブ履歴ファイル名の命名規則

ジョブ履歴ファイルのファイル名は、生成されたときの日時の前に、[ファイル形式] の設定値に従った文字列が付加されます。「年月日」の形式は、複合機の [日付の形式] の設定に従います。設定値ごとのファイル名の例を、次に示します。

[ファイル名] の入力値	末尾に [日時] を付加する	末尾に [本体名]、[シリアル番号]、[日時] を付加する	ファイル名
aaa	無効	有効	aaa_ {本体名} _ {シリアル番号} _ {年月日} _ {時分} .csv
なし	無効	有効	{本体名} _ {シリアル番号} _ {年月日} _ {時分} .csv
aaa	有効	無効	aaa_ {年月日} _ {時分} .csv
なし	有効	無効	{年月日} _ {時分} .csv

補足

- ・ [末尾に [本体名]、[シリアル番号]、[日時] を付加する] を有効にすると、複合機にアクセスして情報を取得します。このとき、[機械管理者情報の設定] で設定した機械管理者の ID、またはパスワードが誤っていると情報を取得できないため、ファイル名にエラーメッセージが付加されます。
- ・ 製品名に、ファイル名で使用できない文字が含まれている場合、アンダーバー () に置き換えられます。
- ・ 配信先に同じ名前のファイル名がある場合は、末尾に 「_2」 を付加したファイル名になります。

自動配信を設定する

ジョブ履歴を自動配信するための設定をします。

共有フォルダーを作成する

SMB サーバーとして使用するコンピューター上にフォルダーを作成し、共有フォルダーとして設定します。

共有名は、全角の場合は 1 ～ 32 文字、半角の場合は 1 ～ 64 文字で設定します。

作成した共有フォルダーに、書き込み権限を持つユーザーを 1 人以上設定します。

配信先を設定する

ジョブ履歴配信に、配信先の SMB サーバーの情報を設定します。

操作手順

1 ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。



・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)

2 ナビゲーションバーで、[セットアップ] をクリックし、画面上部の [配信先] を選択します。

3 各項目を設定します。

項目	説明
サーバー名 / IP アドレス *1	配信先の SMB サーバーのフルコンピューター名、または IP アドレスを入力します。 ・フルコンピューター名の例 host1.example.com ・IP アドレスの例 192.0.2.1 (IPv4 の場合)、2001:DB8::1234 (IPv6 の場合)
共有名 *1	SMB サーバーに作成した共有フォルダーの共有名を入力します。
保存場所 *1	共有フォルダーの下の階層のフォルダー名を入力します。 省略した場合、ジョブ履歴は共有フォルダーの直下に配信されます。
ユーザー名	共有フォルダーの書き込み権限を持つユーザー名を入力します。ドメインユーザーの場合は、「ユーザー名@ドメイン名」の形式で入力します。 省略した場合、複合機の設定によって「ユーザー名なし」または「Guest」とみなされます。
パスワード	共有フォルダーの書き込み権限を持つユーザーのパスワードを入力します。
ポート番号	[指定しない(標準ポート)] を選択すると、ポート番号に「445」が設定されます。 SMB サーバーのポート番号が「445」から変更されている場合は、[指定する] を選択し、ポート番号を入力します。ポート番号は SMB サーバーの管理者にお問い合わせください。

*1 配信先のパスは、入力された文字列を組み合わせで作成されます。
例：\\ {サーバー名 / IP アドレス} \ {共有名} \ {保存場所} \

- 4** 設定が正しいかどうかを確認したい場合は、[空ファイルを送信] をクリックします。
正しく設定されている場合は、入力された設定に従い、ヘッダー行だけのジョブ履歴ファイルが配信されます。
エラーが発生した場合は、表示されたエラーメッセージへの対処方法に従ってください。対処方法は「5 こんなときは」(P.15) を参照してください。
- 5** [新しい設定を適用] をクリックします。

配信方法を設定する

自動配信の方法を設定します。

操作手順

- 1** ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。
-  **参照**
・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)
- 2** ナビゲーションバーで、[セットアップ] をクリックし、画面上部の [配信方法] を選択します。
- 3** 各項目を設定して、[新しい設定を適用] をクリックします。

項目	説明
自動配信する	ジョブ履歴を自動で配信したい場合はチェックマークを付け、配信する周期や時刻を選択します。
配信周期	ジョブ履歴を配信したい頻度を選択します。
配信開始時刻	配信の開始時刻を選択します。  補足 ・実際に配信される時刻は、複合機の設定に従います。
自動配信を開始する上限値	複合機に保存されているジョブ履歴の数を監視して、配信されていないジョブ履歴が指定した件数を超えたときに、自動で配信するかどうかを設定します。
ジョブ数の監視間隔	何時間おきに、複合機のジョブ履歴の数を監視するかを選択します。
リトライ回数	SMB サーバーにアクセスできなかったときにリトライする回数を、1回～10回から選択します。
リトライ間隔	リトライ処理の間隔を選択します。
複合機が指定された時刻に電源オフだった場合、電源オン時に自動配信する	有効にすると、次の場合に、複合機の電源をオンにしたタイミングでジョブ履歴が配信されます。 ・設定した配信日時に複合機の電源がオフになっていた場合 ・リトライ処理中に複合機の電源をオフにした場合 ・設定した回数リトライしても配信できなかった状態で、複合機の電源をオフにした場合

リトライ処理について

リトライ処理で配信されるのは、指定日時に通信エラーなどで配信できなかったジョブ履歴です。処理中に終了したジョブの情報は配信されません。

リトライ回数が指定した回数に達しても配信できなかったジョブ履歴は、次の指定日時に配信されます。

リトライ処理中は、複合機のジョブの保存数は監視されません。

自動配信結果の確認

配信結果を確認したい場合は、動作履歴で確認できます。

動作履歴のダウンロード方法については、「動作履歴の取得方法」(P.16)を参照してください。

ジョブ履歴をエクスポートする

期間を指定して、その期間内に終了したジョブ履歴をエクスポートします。



補足

- ・指定した期間内に終了したジョブがない場合は、ヘッダー行だけのジョブ履歴ファイルが出力されます。

操作手順

- 1 ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。
 参照
・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)
- 2 ナビゲーションバーで、[ジョブ履歴確認] を選択します。
- 3 [開始日時]、および [終了日時] を設定して、[エクスポート] をクリックします。

ジョブ履歴を再配信する

自動で配信できなかったジョブ履歴を、手動で再配信します。

操作手順

- 1 ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。
 参照
・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)
- 2 ナビゲーションバーで、[ジョブ履歴の再配信] を選択します。
- 3 次の操作をします。
 - (1) [空ファイルを送信] をクリックします。
[配信先設定] で設定した SMB サーバーに接続できるかどうかを確認します。接続に成功した場合は、(2) に進みます。失敗した場合は、[配信先設定]、および SMB サーバーの状態を確認してから、再度実行してください。
 - (2) [今すぐ配信] をクリックします。

5 こんなときは

エラーメッセージと対処方法

ジョブ履歴配信のエラーメッセージと対処方法を示します。

対処方法を実施してもエラーが解決しない場合は、弊社担当者にお問い合わせください。



補足

- ・お問い合わせ時に、動作履歴の取得を依頼することがあります。動作履歴の取得方法については、「動作履歴の取得方法」(P.16)を参照してください。

メッセージ	対処方法
SMB 通信機能が無効になっています。 複合機の設定を確認してください。	複合機のネットワーク設定を確認してください。 参照 ・「複合機の設定」(P.7)
サーバーが見つかりません。	【配信先】の【サーバー名/IP アドレス】の入力内容を確認してください。 参照 ・「配信先を設定する」(P.12)
共有名が見つかりません。	【配信先】の【共有名】の入力内容を確認してください。 参照 ・「配信先を設定する」(P.12)
パス名またはディレクトリ名の指定が正しくありません。	【配信先】の【保存場所】の入力内容を確認してください。 参照 ・「配信先を設定する」(P.12)
ユーザー名が正しくありません。	ユーザーを有効にするか、ほかのユーザーを設定してください。
ユーザーがロックアウトされています。	
ユーザーが制限されています。空パスワードが許可されていません。	
ユーザーが無効になっています。	
ユーザーの有効期間が過ぎています。	
ユーザー数制限を越えています。	配信先の共有フォルダーを同時に共有できるユーザー数を変更するか、ほかのユーザーを指定してください。
パスワードが正しくありません。	【配信先 (SMB サーバー)】の【パスワード】の入力内容を確認してください。
パスワードの変更が必要です。	パスワードが無効、または有効期限切れのため、変更が必要です。SMB サーバーのパスワードを変更した後、変更後のパスワードを【配信先 (SMB サーバー)】の【パスワード】に設定してください。
パスワードの有効期間が過ぎています。	
指定されたファイル名は使用できません。	【ファイル形式】の【ファイル名】の入力内容を確認してください。
アクセス権がありません。サーバーのアクセス権設定を確認してください。	指定されているユーザーに配信先のフォルダーのアクセス権を設定するか、配信先をアクセス権があるフォルダーに変更してください。
サーバーにログインできない時間帯です。	配信時刻を、共有フォルダーにログインできる時間に変更してください。
ログイン可能なワークステーションが制限されています。	SMB サーバーのログインの制限を解除するか、ほかのサーバーを指定してください。

メッセージ	対処方法
格納先の空き領域がありません。	格納先の空き領域を増やしてください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続を確認してください。	ネットワーク接続、および通信ポート番号を確認してください。
通信がタイムアウトしました。ネットワーク接続を確認してください。	
複合機のソフトウェアバージョンは、本機能に対応していません。ソフトウェアをバージョンアップしてください。	複合機のソフトウェアを最新版にバージョンアップしてください。

動作履歴の取得方法

動作履歴の取得方法を説明します。

操作手順

- 1 ジョブ履歴配信の設定画面を表示します。



・「ジョブ履歴配信の設定画面を表示する」(P.9)

- 2 ナビゲーションバーで、[ジョブ履歴の再配信] を選択します。

- 3 [動作履歴のダウンロード] の [ダウンロード] をクリックします。
必要に応じて、保存先フォルダーとファイル名を指定してダウンロードします。

6 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「複合機追加型アプリケーション設定複製」を利用すると、本パッケージの各機能の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- ・ ジョブ履歴配信

ファイル形式、配信先、配信方法

ただし、配信先設定のパスワードは、エクスポート / インポートの対象外です。

7 注意と制限

- ジョブ履歴ファイルに出力されるジョブ履歴の範囲は、次のとおりです。
 - 手動でエクスポートする場合：指定した期間内に終了したジョブの履歴
 - 自動配信の場合：未配信、かつ配信開始時刻の時点で終了しているジョブの履歴

 補足

- 正常終了したジョブだけではなく、異常終了したジョブの履歴も含まれます。
- 複合機の時刻設定を変更した場合、ジョブ履歴が適切に配信されないことがあります。サマータイムの適用、および解除も含まれるので注意してください。
- ジョブ履歴の自動配信でエラーが発生し、リトライを指定した回数実行しても成功しなかった場合、配信できなかったジョブ履歴は、次の指定時刻に配信されます。未配信のジョブ履歴がある状態で指定された配信時刻になると、配信されていないジョブ履歴と、最新のジョブ履歴ファイルが配信されます。

このとき、リトライが発生した配信日時のおとに、ジョブ履歴ファイルの言語や文字コードなどを変更しても、再生成されたジョブ履歴ファイルには反映されません。次の配信でジョブ履歴ファイルが新規に作成される時点から反映されます。
- [ファイル形式] で設定した [ヘッダー行の言語] は、ジョブ履歴ファイルに出力される言語に適用されます。ジョブ履歴配信の設定画面は、Web ブラウザーの言語設定に従います。Web ブラウザーで、ジョブ履歴配信が対応していない言語が設定されている場合は、英語で表示されます。

8 付録

ジョブ属性の一覧

ジョブ履歴ファイルでは、1 件のジョブの情報が 1 行に出力されます。
出力されるジョブの属性を、次に示します。

ジョブの属性	説明	出力形式
日付	ジョブが終了した年月日	YYYY/MM/DD  補足 ・年月日の形式は、複合機の設定に従います。
年	ジョブが終了した年	YYYY
月	ジョブが終了した月	MM
日	ジョブが終了した日	DD
年月	ジョブが終了した年と月	YYYY 年 MM 月
月日	ジョブが終了した月と日付	MM 月 DD 日
完了時刻	ジョブが終了した時刻	hh:mm:ss
ジョブの種類	ジョブを実行した機能の種類	文字列  参照 ・「ジョブの種類」(P.22)
ジョブタイプ詳細	ジョブを実行した機能の詳細	文字列  参照 ・「ジョブタイプ詳細」(P.23)
入力(送信)種類	プリントやダイレクトファクスなどで、コンピューターからデータを送信するときに使用されたプロトコル	文字列  参照 ・「入力(送信)種類」(P.26)
入力ポート	プリントなどのジョブを送信するときに使用されたネットワークポート	次のどちらかの文字列 ・ Ethernet1 ・ Ethernet2
PC 名	プリントやダイレクトファクスなどを指示した、コンピューターのホスト名	文字列
UserID	プリントやダイレクトファクスなどを指示したユーザーのユーザー ID	文字列
User 名	UserID に対応するユーザー名	文字列
AccountID	操作パネル、プリンタードライバー、またはファクスドライバーで入力した AccountID	文字列
文書名	プリントやダイレクトファクスした文書名	文字列
出力(排出)先	用紙の排出先、またはデータを転送するときに使用されたプロトコル	文字列  参照 ・「出力(排出)先」(P.26)
1-UP	1-UP の面数	整数値
2-UP	2-UP の面数	整数値

ジョブの属性	説明	出力形式
4-UP	4-UP の面数	整数値
N-UP	N-UP の面数	整数値
片面	片面の枚数	整数値
両面	両面の枚数	整数値
PDL	送信または受信したデータの種類	文字列 63 参照 ・ [PDL] (P.26)
{プリント面数}	カラーモードと用紙サイズの組み合わせごとの面数 63 参照 ・ 「面数、枚数の項目名について」 (P.21)	整数値
{プリント枚数}	用紙サイズと紙質の組み合わせごとの枚数 63 参照 ・ 「面数、枚数の項目名について」 (P.21)	整数値
{スキャン面数}	カラーモードと用紙サイズの組み合わせごとの面数 63 参照 ・ 「面数、枚数の項目名について」 (P.21)	整数値
ジョブ処理状態	ジョブ処理の状態	次のどれかの文字列 ・ 完了 ・ 完了 (警告あり) ・ 中止 ・ 中止 (システム) ・ 不明
フォルトコード	・ 異常終了の状態を表すコード 64 補足 ・ 弊社担当者へのお問い合わせ時に必要なことがあります。	{3桁の数字} - {3桁の数字}
関連ジョブ	親ジョブと子ジョブが生成されたときに、子ジョブに記録される親ジョブの ID	整数値
ジョブ番号	用紙にプリントして、ジョブ履歴を特定するための ID	文字列
ジョブ番号	ジョブに付けられる ID	整数値
文書番号	1 ジョブごとに付与されるの文書 ID	整数値
ボックス番号	親展ボックスの番号	整数値
ファクス宛先名	ファクスの宛先名 64 補足 ・ 宛先表を利用してファクス通信した場合に表示されます。	文字列
ファクス相手局名	ファクス通信先の自局情報に登録されている「自局名」	文字列
ファクスリモート ID	ファクス通信先の自局情報に登録されている「G3 ID」	文字列
ファクス相手先番号	ファクス通信先のファクス番号	文字列

ジョブの属性	説明	出力形式
ファクス通信開始日	ファクス通信の開始日	YYYY/MM/DD  補足 ・年月日の形式は、複合機の設定に従います。
ファクス通信開始時刻	ファクス通信の開始時刻	hh:mm:ss
ファクス通信時間	ファクスの通信時間  補足 ・秒単位で表示されます。	整数値
ファクス送信ページ数	ファクス送信が完了したページ数	整数値
ファクス受信ページ数	ファクス受信が完了したページ数	整数値
ファクス通信プロトコル	ファクス通信で使用されたプロトコル	次のどれかの文字列 ・その他 ・G3 ・G4 ・SuperG3 ・forced_4800 ・forced 4800 without ECM ・G3 without ECM
ファクス通信結果	ファクス通信の結果	次のどれかの文字列 ・良好 ・中断 ・エラー ・話中 (リダイヤルオーバー) ・話中 (リダイヤル予定) ・自動再送予定 ・強制中断 ・相手または網が原因のエラー ・その他のエラー
カラー総面数	カラーで出力された面数	整数値
白黒総面数	白黒で出力された面数	整数値
総面数	出力された白黒 / カラーの合計面数	整数値
総枚数	出力された白黒 / カラーの合計枚数	整数値
ファクス短縮ダイヤル番号	ジョブログに追加する FAX 短縮番号	文字列
部数	印刷部数	整数値
{特殊色面数}	特殊色と用紙サイズの組み合わせごとの面数  参照 ・「面数、枚数の項目名について」(P.21)	整数値

面数、枚数の項目名について

プリントやスキャンの面数や枚数の項目名は、次のように表示されます。

ジョブの属性	項目名の形式	例
プリント面数	{カラーモード}、{用紙サイズ}	カラー、A4
プリント枚数	{用紙サイズ}、{紙質}	Letter、普通紙
スキャン面数	{カラーモード}、{用紙サイズ}	カラー原稿、A4

ジョブの属性	項目名の形式	例
特殊色面数	特殊色、{用紙サイズ}  補足 ・特殊色は [特殊色] のみ存在します。 ・特殊色には「Gold」や「Silver」など複数存在しますが、すべてまとめて特殊色としてカウントしています。	特殊色、A4

項目名に表示される文字列は、次のとおりです。

- ・ カラーモード（プリントの場合）
 - カラー
 - 白黒
- ・ カラーモード（スキャンの場合）
 - カラー原稿
 - 白黒原稿
- ・ 用紙サイズ
 - A4
 - B4
 - A3
 - Letter
 - Legal
 - Ledger
 - その他
- ・ 紙質
 - 普通紙
 - うら紙
 - その他

各項目の詳細

ジョブ履歴に文字列の形式で出力される項目の詳細について説明します。



補足

- ・ (空白) は、その項目に何も出力されないことを示します。

ジョブの種類

文字列			
コピー	スキャン	ファクス	プリント
システムシート	ファイル転送	電子メール転送	ジョブフロー
未定義	INTERNAL	不明	

ジョブタイプ詳細

ジョブの種類	文字列	
コピー	コピー	
	コピーサーバーコピー	
スキャン	SCAN	
	Xdom スキャン	
	Xdom コピー	
	ファクスポーリング予約	
	ファクス親展ポーリング予約	
	スキャン文書蓄積	
	コピーサーバースキャン	
	Web スキャン	
	自動階調補正	
	スキャン BMLinkS	
	ファクス	FAX
ダイレクトファクス送信		
蓄積文書ファクス送信		
電子メール受信文書ファクス送信		
ファクス同報送信		
ファクス自動送信		
ファクス手動送信		
ファクスイミディエト自動送信		
ファクス自動親展送信		
ファクスポーリング送信		
ファクス親展ポーリング送信		
ファクスレポート送信		
ファクス中継同報指示		
ファクス中継同報送信		
ファクスリモートメンテナンス		
インターネットファクス受信文書ファクス(自動)送信		
ファクス/インターネットファクス同報送信		
サーバーファクス送信		
プリント		プリント
		セキュリティプリント
	プルーフプリント	
	プルーフ受信 1 部印刷	
	電子メール受信プリント	
	ディレイプリント	
	メディアプリント	
	メディアインデックスプリント	
	課金認証プリント	

ジョブの種類	文字列	
プリント	デジカメプリント	
	デジカメインデックスプリント	
	文書プリント	
	文書インデックスプリント	
	XDOD プリント	
	プリントサーバープリント	
	Web プリント	
	プライベートプリント	
	ファクス自動受信プリント	
	ファクス手動受信プリント	
	ファクスイミディエト受信プリント	
	ファクスポーリング予約文書確認プリント	
	ファクス親展ポーリング予約文書確認プリント	
	ファクスポーリング受信プリント	
	ファクスイミディエトポーリング受信プリント	
	ファクス集信プリント	
	ファクスイミディエト集信プリント	
	ファクス中継同報受信プリント	
	インターネットファクス受信プリント	
	スキャン蓄積文書プリント	
	プリントデータ蓄積文書プリント	
	ファクス蓄積文書プリント	
	インターネットファクス蓄積文書プリント	
	電子メール蓄積文書プリント	
	蓄積文書プリント	
	コピーサーバープリント	
	BMLinkS プルプリント	
	システムシート	PostScript 初期化プリント
		レポートプリント
		機能設定リスト
		ジョブ履歴レポート
		エラー履歴レポート
スタートアップレポート		
フォントリスト		
蓄積文書リスト		
DV 管理レポート		
保守管理レポート		
ファクス通信管理レポート		
ファクス同報送信レポート		
ファクス中継同報レポート		
ファクス集信レポート		

ジョブの種類	文字列
システムシート	ファクスモニターレポート
	ファクスプロトコルモニターレポート
	ファクス未送信レポート
	インターネットファクスモニターレポート
	インターネットファクス未送信レポート
	階調補正チャート
	テスト印刷
	スタンプ一覧リスト
ファイル転送	MAILBOX
	セキュリティ受信
	ディレイ受信
	課金認証受信
	スキャン文書 CenterTool 転送
	スキャン文書ファイル転送
	USB メモリー保存
	ファクス自動受信
	ファクス手動受信
	ファクス親展受信
	ファクスポーリング受信
	ファクス親展ポーリング受信
	ファクス中継同報受信
	インターネットファクス親展受信
	蓄積文書ファイル転送
	蓄積文書ファイル送信
	電子メール親展受信
	プリント文書親展受信
	蓄積文書 SMB フォルダ蓄積
	ファクスプロトコルモニターレポート蓄積
	コピーサーバー編集
	プライベート受信
	プライベートプリント転送
	プリント指示
電子メール転送	スキャン文書電子メール送信
	スキャナー (URL 送信)
	ファクス受信文書電子メール送信
	インターネットファクス送信
	ファクス (自動) 受信文書インターネットファクス送信
	蓄積文書電子メール送信
	蓄積文書インターネットファクス送信
	蓄積文書 (URL 送信)

ジョブの種類	文字列
ジョブフロー	ジョブフローサービス
	外部サービス呼出
	ジョブフローサービスログ転送



・上記に該当しない場合は、「ジョブの種類」および「ジョブタイプ詳細」に「不明」と記録されます。

入力 (送信) 種類

文字列			
スキャナー	その他	パラレル	シリアル
EtherTalk	lpd	NetWare:PServer	NetWare:RPrinter
Salutation	IPP	SMB	SMTP
POP3	Port9100	USB	HTTP
BMLinkS	USB2	WSD Print* ¹	ThinPrint
FTP	WebDAV	内蔵 HDD	Report/List
PS Initialize	{ファクス回線 / ポート形式}	ジョブフロー	

*1 WSD とは、「Web Services on Devices」の略称です。

出力 (排出) 先

文字列			
自動	排出トレイ	サイドトレイ	ソーター
ビン X* ¹	スタッカービン X* ¹	フィニッシャー	Salutation
FTP	HTTP	SMTP	HDD
SMB	WebDAV	BMLINKS	Netware
ゼロックス HTTP	Media	WSD* ²	IPP
LPD	AirPrint Scan	{ファクス回線 / ポート形式}	{プロトコル}
{プロトコル} : {送信先情報}	(空白)	その他	

*1 [X] はビンの番号です。

*2 WSD とは、「Web Services on Devices」の略称です。

PDL

文字列			
不明	自動	HP-PCL	HPGL
PJL	PostScript	PDF	ESCP
PR201PL	TIFF	DIAGNOSTIC	ART
PLW	KS	KSSM	XJCL
JFIF	Bitmap	RAW	BILEVEL
DocuWorks	HP-PCLXL	XPJL	KS5895

文字列			
EXIF	HCOMP	XPS*1	PDF/A
CALS	CGM	GRF	GCGL
FXMMR	ZJS		

*1 XPS とは、「XML Paper Specification」の略称です。